

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
 企画 イースタンコミュニケーションズ
 印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
 八女市祈祷院 5 6 3 〒834-0025
 HP : www.wing8.com/dcity-yame/

「クラッシー」は毎月発行します。紹介したい地域の行事や趣味のサークル、愉快的仲間達その他読者を楽しくさせ、元気づけ人や社会のお役に立つ原稿を募集します。

1 JAN

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
2	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 12月8日 先勝 ●小 元日	2 9日 友引 小	3 10日 先負 長	4 11日 仏滅 若	5 12日 大安 中 松尾弁財天縁日 (立花町) 鬼の修正会 (筑後市・熊野神社)	6 13日 赤口 中 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館)	7 14日 先勝 大
8 15日 友引 大 べんがらの日 (べんがら村)	9 16日 先負 ○大 成人の日	10 17日 仏滅 大 羽犬塚恵比須大祭 (羽犬塚・六所宮)	11 18日 大安 中 なんでも人権相談所 (立花市民センター) (筑後市勤労者家庭支援施設)	12 19日 赤口 中	13 20日 先勝 中 なんでも人権相談所 (黒木地域交流センター) 虚空蔵さん大祭 (上陽町轟)	14 21日 友引 中 子ども会カルタ大会 (サンコア)
15 22日 先負 小 新春三社詣でウォーク (八女歩こう会)	16 23日 仏滅 ●小 瘦せ仏様御日 (八女市大籠行政区)	17 24日 大安 小	18 25日 赤口 長 社会保険個別相談会 10:00~15:00 (八女商工会議所) 要予約 0942-33-6192	19 26日 先勝 若 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	20 27日 友引 中 定例法律相談会(要予約) 10:00~12:00 (八女商工会議所) ☎22-5161 二十日諏訪恵比須大祭 (筑後市・諏訪神社)	21 28日 先負 中 サンコアまつり (~22日)
22 29日 仏滅 大 滝の宮不動尊縁日 矢部川一周ウォーク (吉田ウォーキングクラブ)	23 1月1日 先勝 ●大	24 2日 友引 大	25 3日 先負 中 不動産に関する何でも相談会 13:00~15:00 (八女商工会議所)	26 4日 仏滅 中 お風呂の日 (グリーンピア八女) (温泉館きらら) (不動温泉八女) (べんがら村)	27 5日 大安 中	28 6日 赤口 中 人生史サークル黄櫨の会 (八女福祉会館) 不動温泉の日
29 7日 先勝 小	30 8日 友引 小	31 9日 先負 ●小	心配ごと相談(八女市) 八女市社会福祉会館 1月4日・18日 黒木町ふじの里 1月4日・18日 上陽町地域福祉センター 1月11日・25日 立花町かがやき 1月11日・25日 法律相談(要予約) 八女市社会福祉会館 1月13日 黒木町ふじの里 1月20日 上陽町地域福祉センター 1月27日 司法書士相談 黒木町ふじの里 1月13日 八女市社会福祉会館 1月20日 筑後市 心配ごと相談 毎週木曜日/総合福祉センター 健康に関する総合相談 毎週金曜日/筑後市立病院 くろぎふるさと日曜日 毎週日曜日 上陽ふるさと市 毎週土曜日 〇読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎週土曜日 午後2時~ ゆめみらい図書館(黒水分館) 毎月第2土曜日 午前11時~ 〇赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館) 毎月第3水曜日 午前11時~ ゆめみらい図書館(黒水分館) 毎月第4木曜日 午前11時~			

と嬉しい言葉。お元気で佳い年を

門松を立て、雑煮を食べ、賀状を出したり、これは神様が三百六十五日を一区切り、祝いあい、人生階段ひと休みの思い召しと解釈の作家井上靖の詩を思いうかべて、平成24年の元旦を迎える。▼去りゆく年には、3月11日、東日本大震災、大津波、劫火、追い打ちかけた原発被害。ノンフィクション作家佐野真一氏は「原発のうすら寒い風景の向こうに私たちの恐るべき知的怠慢が広がっている」と警告。▼12月9日。矢部木鶏クラブ五名、熊本県菊池の「アンプルナ農園」経営、木を植えましよう”の巡礼活動家正木高志さんを訪問。正木さんは去る七月には有志と呼びかけあって、熊本市で「さよなら原発映画祭」を開催。東北から移住の人とのつながりを得る機会となったといった話も聴く。▼思いがけない御歳暮、種子ヶ島(熊毛郡南種子町)から、さつま諸一箱。贈り主は坂口物産。御礼の電話をしたところ、平成4年第2回世界子ども愛樹祭みどりの受賞賞の晋一君。卒業と閉校記念に植樹の八本の桜について書いた作文。中学三年生であった彼はもはや三十歳。授賞式に来村。「あのあたゝかい歓迎は忘れられない。一宿一飯の恩義です。今こそ森が大事です。お元気で佳い年を」と嬉しい言葉。

愛樹の心、
新たな一歩
詩人 推窓 猛